

# 「令和元年度全国学力・学習状況調査」の結果について

## 1 調査の概要

### (1) 調査対象

小学校6年生の児童、中学校3年生の生徒

### (2) 調査期日

平成31年4月18日(木)

### (3) 調査内容

#### ①教科に関する調査(国語、算数・数学、英語) 下記 i, ii を一体的に問う。

i 身に付けておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

ii 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

#### ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

## 2 教科に関する調査結果

### 1 大津町と熊本県、全国の平均正答率の比較

#### (1) 小学校 7校

《小学校》 6年生	大津町	熊本県	全国
国語	66	65	63.8
算数	68	66	66.6

#### i 国語

○ 領域、観点のほとんどが、全国、熊本県の平均正答率を上回る結果であった。

特に、「話すこと・聞くこと」が大きく上回った。話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする問題で正答率が86.4であった。言語活動に係わる指導の成果と考えられる。

#### ii 算数

○ 領域・観点のほとんどが、県、全国の平均正答率を上回った。特に、示された計算のしかたを解釈し、被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する問題の正答率が県、全国と比べて5ポイント上回っており、確かな知識及び技能の習得に向けた取組の成果と考えられる。

#### (2) 中学校(2校)

《中学校》 3年生	大津町	熊本県	全国
国語	76	72	72.8
数学	58	58	59.8
英語	52	53	56.0

#### i 国語

○ 全ての領域、観点の正答率が、県、全国の平均正答率を上回った。「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、ともに県・全国平均を大きく上回った。読解力を高める指導の成果と考えられる。

#### ii 数学

○ 正答率は、県・全国平均とほぼ変わらない結果であった。数量や図形などについての知識・理解の正答率が大きく上回り、確かな知識理解への取組の成果と考える。

#### iii 英語

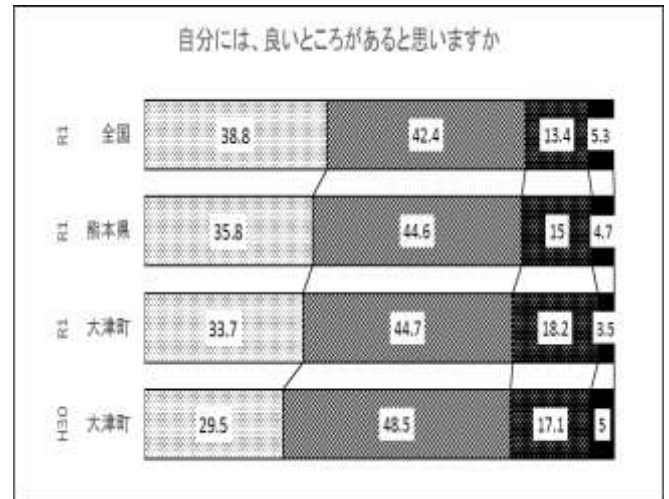
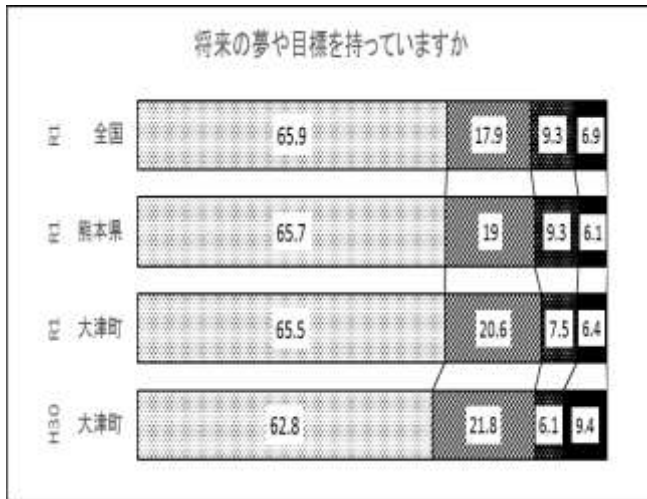
▼ 書くことに関して課題がある。文の中で適切に接続詞を用いたり、与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりする学習に更に取り組みさせる必要がある。

### 3 質問紙による調査

(1) 小学校 R1 (n=374) H30 (n=363)

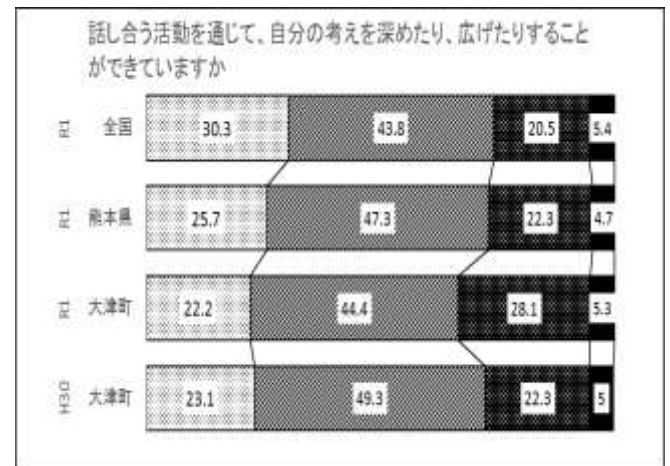
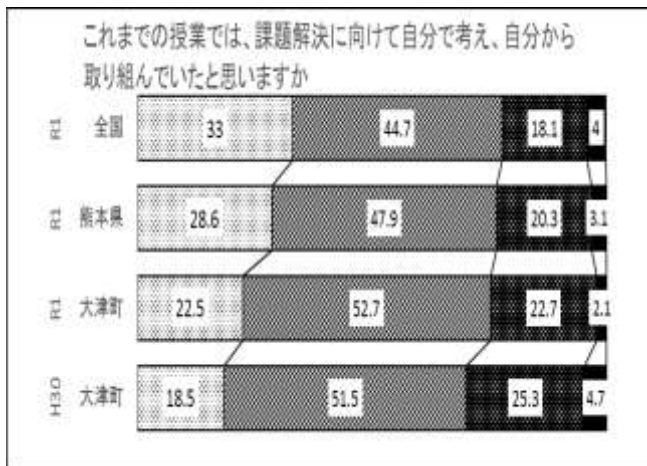
① 将来の夢 (キャリア教育)

② 自己肯定感 (特別活動)

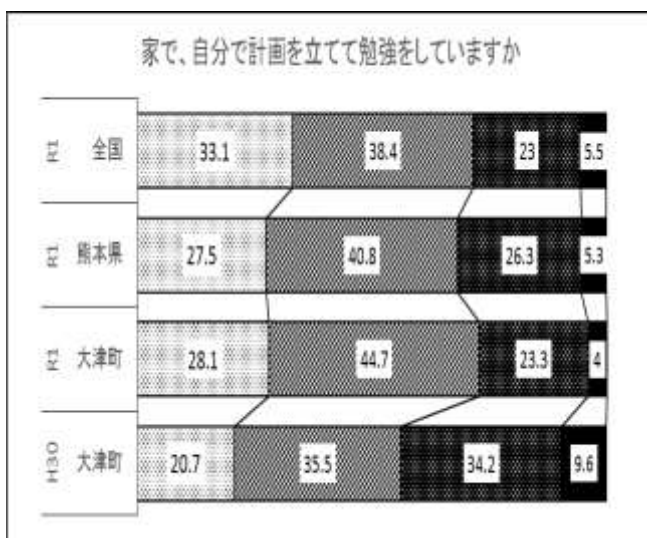


③ 主体的な学び

④ 対話的な学び、深い学び



⑤ 家庭学習



○「将来の夢」について、「持っている」と肯定的に回答した児童の割合は、県、全国を上回っている。また、大津町の昨年度と比べて、肯定的な回答の割合が増加している。

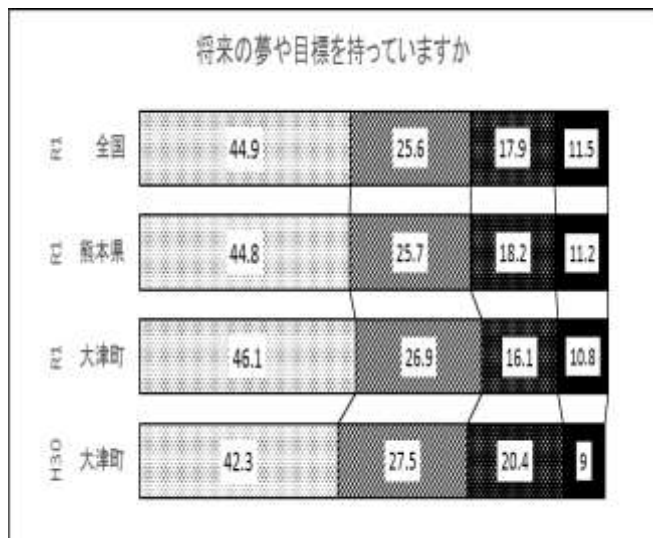
○「自己肯定感」に関する肯定的な回答の割合は、増加傾向にある。県、全国比としては、ほぼ変わらない結果である。

▼主体的・対話的で深い学びに関する肯定的な回答が、県、全国を下回る結果であった。

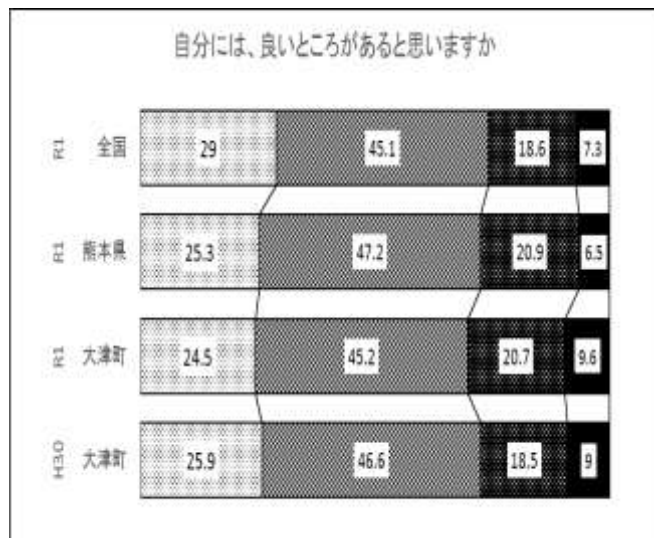
○家庭学習において、計画的に学習していると肯定的に回答した児童は、昨年度に比べて大きく増加し、県、全国を上回る結果であった。

(2) 中学校 R1 (n=323) H30 (n=324)

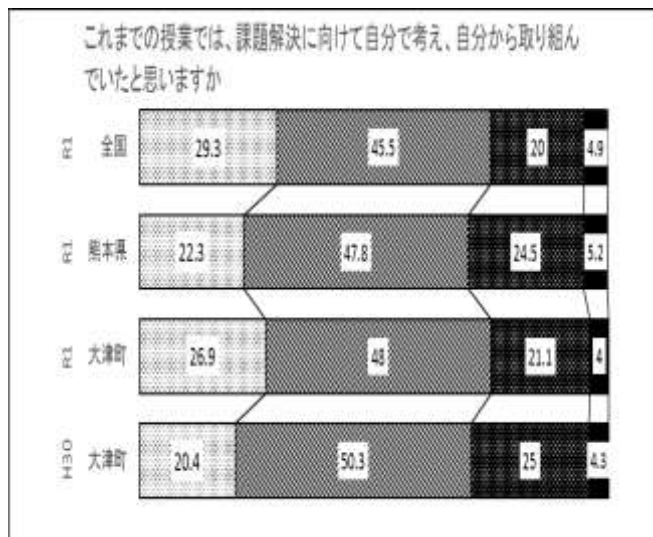
① 将来の夢 (キャリア教育)



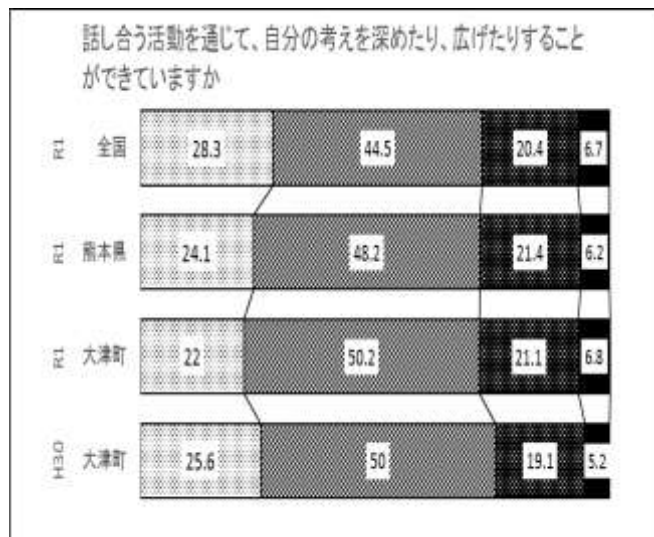
② 自己肯定感 (特別活動)



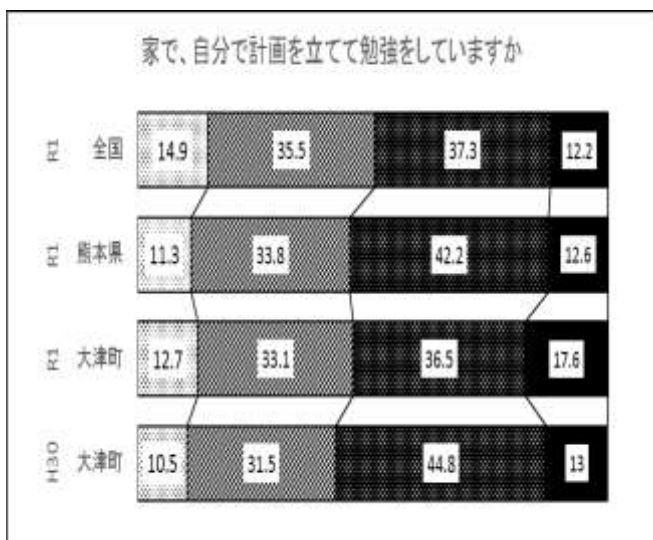
③ 主体的な学び



④ 対話的な学び、深い学び



⑤ 家庭学習



○「将来の夢」について、「持っている」と肯定的に回答した生徒の割合は、増加し、県、全国の割合を上回っている。

▼「自己肯定感」に関する肯定的な回答の割合は減少し、県、全国と比べて、下回る結果であった。

○主体的な学びに関する肯定的な回答の割合が増加し、県、全国を上回る結果であった。

▼対話的で深い学びに関する肯定的な回答の割合が減少しているが、県、全国値とほぼ変わらない。

○家庭学習において、計画的に学習していると肯定的に回答した児童は、昨年度に比べて大きく増加したものの、「当てはまらない」と回答した生徒が増加し2極化傾向にある。